

育 Me 科 学習指導案 「きちんとお願いできるかな」

○ねらい

相手を思いやりながらも自分の頼みをはっきり伝えるスキルを身に付ける。

	活動内容	進め方・支援	育 Me 科の視点
導入	<p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容「相手に伝わる話し方」を確認する。 <p>2 学習内容の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で相手をお願いをする場面を振り返る。 ・教師によるモデリング <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈場面〉給食当番だが、昼休みに委員会の仕事も入っている。どうしても当番の仕事である給食の片付けができない。そこで同じ当番の仲間をお願いをする。</p> </div> <p>〈1回目〉攻撃的に自分のことばかりを考えた表現で。 〈2回目〉非主張的に自分の考えや人権を放棄し卑下する表現で。 〈3回目〉アサーティブ率直に自分のことを伝え、相手にも配慮した表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「上手にお願いする」ポイントの確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「上手なお願いのしかた」 ①相手の気持ちを考えながら用件を伝える ②自分も相手も安心できる</p> </div> <p>3 本時のめあての掲示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>相手の気持ちを大事にしながら、上手にお願いしよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで確認をする。 ・モデリングを繰り返し、それぞれお願いされた側としてどんな気持ちになるか考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おかめのあいさつ」を用いる。 ・日常の様子を振り返る際、自分の気持ちや相手の気持ちに着目して振り返らせたい。
展開	<p>4 グループ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ3～4人で、順番に行う。(A:お願いする B:お願いされる CD:評価者)1回行うごとに「上手なお願いのしかた」に沿って評価する。 ・配付した場面カードを机上に裏返し、役割 A の生徒がカードを引き、書かれた場面に沿って役割演技をすう。 <p>〈場面1〉授業後に黒板を消す係だが、どうしてもすぐにトイレに行きたい。そして次は、移動教室。クラスの仲間をお願いする。 〈場面2〉授業中、算数の問題を解いているが、どうしてもできない。一生懸命に問題を解いている隣の仲間算数の問題を教えてもらえるようお願いする。 〈場面3〉土曜日の午後から友達と遊ぶ予定をしていたが、突然大切な用事が入ってしまった。相手に上手に伝えよう。 〈場面4〉ああ 〈場面5〉ああ</p> <p>5 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体の場で提示した場面に沿って役割演技する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名札を配布し、誰が役割演技をしているのか、どの役をやっているのか分かりやすくする。 ・3つのパターンの掲示 ・場面カードを各グループに配付し、役割 A の児童にカードを引かせる。 ・お願いされる役割 B は教師が行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「相手に伝わる話し方」で学習した声量、視線、表情などを意識させる。
まとめ	<p>6 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が生活している姿を振り返り、「上手なお願いしかた」ができているか考えさせる。 ・振り返りをプリントに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【出口での児童の姿】 「私は少し強い言い方でお願いしていたかもしれないので、相手の気持ちや状況を考えながら丁寧にお願いできるようにしたいです。」</p> </div>		